

彦根商工会議所 未来人材育成事業について

彦根商工会議所 副会頭・IT推進研究会委員長 橋本 健一

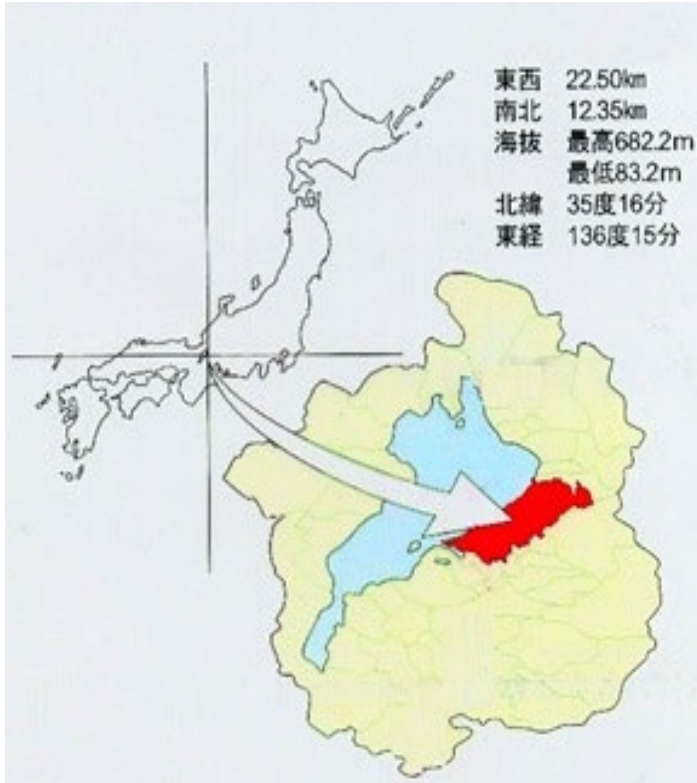


滋賀県彦根市について

- 彦根市は琵琶湖東北部の中核都市で、関西・中京圏にアクセスが良い。江戸時代に彦根藩35万石の城下町として本格的な発展が始まり今日に至る。人口約11万1,770人（2022年8月末現在）で県内4番目
- 地場産業は、彦根仏壇、バルブ（水道・船舶・産業）、ファンデーション（女性用下着）。大手進出企業は、パナソニック、ブリヂストン、麒麟ビール、フジテック等
- 国立大学法人滋賀大学（経済学部・データサイエンス学部）、公立大学法人滋賀県立大学、聖泉大学、ミシガン州立大学連合日本センターがあり、大学生・留学生等約6,000人が在学
- 観光資源は、国宝彦根城（年間80万人来城）、ひこにゃん（今年で16歳）、ご当地キャラ博、ゆかたまつり、時代劇を中心とした映画ロケ、江戸町屋風の夢京橋キャッスルロード
- 特産品は日本3大和牛の一つ近江牛、鮎寿司、湖魚（鮎・琵琶鱒等）、彦根梨、和菓子等
- 農産物は水稻を中心に、麦、大豆、彦根梨、アスパラガス、いちご、トマト、各種野菜等があり、兼業農家が多い



滋賀県彦根市・ひこにゃん・国宝彦根城



2024年世界遺産登録目指す

『彦根城を見れば、江戸時代が分かる。』

彦根城は、江戸時代の政治体制をあらわす物証の代表例です。世界全体がネットワークで結ばれるという歴史的な動きに対応して、17世紀には、世界の各地域で新しい秩序がつけられました。日本の江戸時代の幕府と藩による政治体制も、その1つです。それぞれの藩は、城を拠点にして政治を行い、秩序ある安定した社会を築き、豊かな文化を生み出しました。

- 人類共通の遺産とすることで、彦根と世界との新しい結びつきが生まれる
- 地域住民は、地域の魅力を再発見
- 歴史的・文化的な魅力を世界に伝え、文化遺産を活かした地域の持続可能な発展となる



彦根商工会議所について

- 昭和13年県内3番目に創立、会員数約1,560、7部会（金属工業、化学・素材工業、建設・不動産、交通・流通、小売商業、観光・サービス、理財・情報産業）、青年部、女性会、異業種交流研究会等
- 部会再編を2018年度に実施し11部会から7部会へ、会費改定を2019年度に行い、これまでの資本金・従業員数基準から、売上規模・受持者数基準に変更し、最低額も引き上げた
- 2016年に当所役員・会員事業所が主体となり、一般社団法人近江ツーリズムボードを設立、広域観光の推進、インバウンド客増加に取り組む
- 2021年に当所・行政・大学・金融機関・会員事業所のコンソーシアムにより、近江テック・アカデミー株式会社を設立、中小企業への伴走型デジタルサポート、ジュニア世代へのデジタル教育、スタートアップ支援とVCの組成等に取り組む



彦根商工会議所役員について

- 会頭1名、副会頭3名、専務理事、理事、常議員26名、監事2名、議員80名、正職員11名（経営指導員5名、支援員2名）等
- 会頭は、（株）キントー 代表取締役会長 小出英樹で現在3期目
- 副会頭は（株）千成亭風土 上田健一郎、（株）公益社 木川英樹、（株）橋本建設 橋本健一の3名



自己紹介

- 橋本健一（株式会社橋本建設 代表取締役）
- （株）橋本建設は、1971年創業、橋本グループの中心企業として、彦根市野口町に位置し、事業内容は、建設事業、不動産開発事業、山土・碎石販売事業、産業廃棄物処理事業、不動産賃貸事業、ソーラー事業
- その他グループ会社に（株）橋本不動産、（株）オオミ建設、（株）NEVERLAND、（株）彦根麦酒
- 橋本グループは、「進化」をスローガンに、土木建設業、不動産事業、山土・碎石販売事業、産業廃棄物処理事業など事業フィールドを拡大させてきました。わたしたちグループのトータルパワーで「心」を大切にしまちづくり、暮らしづくりに取り組みます



当所2022年度9項目の事業方針

①彦根城**世界遺産登録**の推進

②IT・デジタルの**ビジネス**
利用拡大

③**人材育成**事業の展開（全世代型）

④彦根経済の**中期計画策定**
と諸問題の研究

⑤役員および議員、部会**改選**

⑥**地域交通システム**構築／
未来社会の探求

⑦部会・委員会・研究会の
活性化と参画強化

⑧（一社）近江ツーリズム
ボードとの連携による**広域**
観光まちづくりの推進

⑨**行政・大学・高校・関係**
団体との連携による地域経
済活性化



当所未来人材育成事業の趣旨・経緯について

- 2013年に小出英樹会頭が就任、「彦根商工会議所三方よしの推進（会員よし・地域よし・将来よし）」を基本方針に定め、「地域よし」で、彦根市及び4大学との関係強化と協同事業の推進、「将来よし」で、次世代人材育成のためのプロジェクト（青少年・大学生を対象にした地域教育プログラムの開発）を重点項目の一つに掲げました。その方針に従い、大学と連携を深め、各種事業を推進してきた



未来人材育成事業の具体的な取り組み



①2017年夏～ Tech Kids CAMP in彦根

2020年から小学校におけるプログラミング教育の必修化の発表を受け、地域の未来を担うジュニア育成事業として短期集中型ワークショップを開催



②2019年秋～ ジュニアITスクール

Tech Kids CAMPに参加した生徒や、パソコンに興味を持つ小学生を対象に、日常的に学ベスキルアップできる機会として、常設のプログラミングスクールを開講



③2020年～ ひこねKidsプログラミングコンテスト

新たな目標設定、さらなるスキルアップと意欲向上のため、より多くの小学生に興味をもってもらうため、個性やアイデアあふれる作品を募集するコンテストを開催



① Tech Kids CAMP in 彦根（2017年夏～）

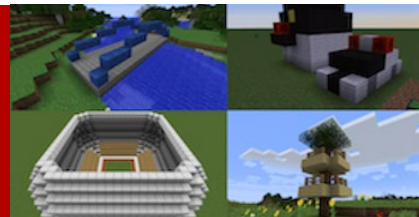
短期集中型ワークショップ（春・夏休み3日間）

- 運営協力 (株)CA Tech Kids (株)サイバーエージェント子会社)
- 対象 彦根市内の小学3～6年生（定員40名）
- 講師（メンター） (株)CA Tech Kids講師 & 滋賀大学データサイエンス学部生
- 内容 コースは3つ、6人グループに分かれプログラミングの基礎から学び、学生メンターより指導を受ける。レクリエーションあり、発表会あり

①Scratch （初級）



②マイクラ （初級）



③マイクラ （中級）



Tech Kids CAMP in 彦根（2017年夏～）

滋賀大学DS学部
メンター（指導者）

市教育委員会
参加者募集

滋賀中央信用金庫
協賛



2017年より **5** 回開催、延べ**192**名参加、リピート受講も多く人気のイベント



彦根城を世界遺産に！

②ジュニアITスクール（2019年秋～）

当所常設スクール（平日夕方・土曜午後、月4回（1回1時間）開催）

- 運営協力 (株)CA Tech Kids
- 対象 彦根市内の小学2～6年生
- 講師（メンター） **滋賀大学DS学部生**（事前研修あり）
- 内容 小学生向けオンラインプログラミング学習教材「QUREO（キュレオ）」を使用し、生徒にアカウントを発行。当所での授業と家庭でも自習が可能。現在、約15名の学生が子供たちの指導役として活躍中。先端工場（当所会員事業所）見学をカリキュラムに取り入れている。

市内小学生 × 滋賀大DS学部 × 先端工場



ジュニアITスクール（2019年秋～）

■メンター事前研修会（約20名に学生が受講、講師はCA Tech Kids講師）



■授業風景



ジュニアITスクール（工場見学）

■ パナソニック(株)アプライアンス社 彦根工場（参加者22名）

工場長より会社概要・シェーバー作りの説明後、工場内（シェーバー工程）と商品展示場を案内いただいた。



■ (株)SCREENホールディングス 彦根事業所（参加者14名）

所長より会社概要・工場の製造装置の説明後、最新の工場内（半導体製造装置、液晶パネル製造装置）を案内いただいた。



彦根城を世界遺産に！

③ひこねKidsプログラミングコンテスト（2020年～） ～#未来をツくれ!ひこねクリエイター～

小学生対象プログラミングコンテスト

- 運営協力 (株)CA Tech Kids
- 対象 彦根市内の小学 1 ～ 6 年生
- 応募期間 7 ～ 9 月
- 応募方法 オンライン上
- 応募作品 コンピュータプログラミングを用いて開発されたオリジナル作品
テーマ・プログラミング言語は自由
- 内容 夏休みを利用し作品を募集、審査を経て優秀作品の表彰を行う。
コンテストの審査は(株)CA Tech Kids（技術面）と後援・協賛団体、
当所IT推進研究会メンバーにて行う。

■「Tech Kids Grand Prix」について

『21世紀を創るのは、君たちだ』をスローガンに掲げ、2018年以降毎年開催され、初年は1,019件、翌年には1,422件のエントリーが集まり、3回目となる今回は全国の**12自治体等**と連携し、地方大会が開催されたため、応募件数が**1.5倍の2,189件**に。地方参加者も4.7倍。**商工会議所主催は初！**



ひこねKidsプログラミングコンテスト（2020年～）



世界観に引き込まれる物語作品や、効果音を使った迫力のあるゲーム作品、楽しく勉強できる計算ゲーム等小学生ならではの作品の応募があった



彦根大会には **38** 作品の応募があり、上位6名を表彰式に招き表彰を行った

ひこねKidsプログラミングコンテスト表彰式

- 日時 (2020年度) 11月25日 (水) 16:30～17:30
- 場所 彦根商工会議所 大ホール
- 参加者 受賞者6名とその保護者、来賓（滋賀大学DS学部長、彦根市教育委員会教育長、滋賀中央信用金庫理事長）、報道機関等（総勢35名）
- 内容 受賞者による入賞作品プレゼンと賞状・賞品・副賞の授与
YouTubeLive配信も行い、関係機関に閲覧いただいた
- ① 賞品 iPad、バランススクーター、ドローン、レゴ®WeDo 2.0
※ドローン、レゴは、プログラミング関連商品
- ② 副賞 (受賞者全員) 数学・算数検定、英検、プログラミング能力検定の受験料3回分、
ひこにゃんエコバッグ
- ③ 参加賞 ブルーライトカットメガネ「JINS SCREEN KIDS 25% CUT」
※協賛企業、(株)ジンスホールディングスより無料提供



ひこねKidsプログラミングコンテスト表彰式



▲①小出会頭 ②受賞者 ③橋本副会頭



▲副賞（検定受験料）贈呈

■最優秀賞 受賞者コメント

バグや修正で何日も前に進めず、提出をあきらめかけたが、目標を立て完成できた。ぼくの作品が最優秀賞に選ばれ名前が呼ばれた時は、足がふるえた。すごく興奮して表彰式の日々の夜はなかなか眠れなかった。これからもっと勉強して思うような動きが自在に作れるようになりたい。



▲入賞作品プレゼン



▲記念撮影



彦根城を世界遺産に!

その他の未来人材育成の取り組みについて

- 滋賀大学との包括連携協定締結
- 2024年の彦根城世界遺産登録を目指し、当所寄附講座「世界遺産学」（滋賀大学・滋賀県立大学）の実施、世界遺産検定の実施（2018年より）、世界遺産学受講学生の世界遺産検定受験料割引
- 中川祿郎杯・彦根市小学生イングリッシュコンテスト（市教育委員会主催・当所協賛）
- 彦根プレミアム塾「彦根ヒストリア講座」（当所主催・学生無料）
- 中国深圳バレイ・ツアーの実施（2019年2月に当所役員・会員と滋賀大生5名が、デジタルビジネスの先進地「深圳」を訪問し、現在から未来に繋がる先進技術を視察）



滋賀大学との包括連携協定締結発表会



中国深圳バレイ・ツアー



今後の展開

スーパーキッズ
の輩出

(本プログラミング事業)



地域の未来の創造

全世代がつな
がる人材育成



大学との連携



彦根城を世界遺産に!